

CHAPTER

3

第3章

「あるべき姿」と 計画の基本理念

- | | |
|-----------------|----|
| 1 函館経済における観光の役割 | 08 |
| 2 函館観光のあるべき姿 | 09 |
| 3 函館観光の基本理念 | 10 |



01 函館経済における観光の役割

観光は地域経済を支える重要な産業

函館市における新型コロナウイルス感染症前の年間観光消費総額は、2,046億円と推計されていました。

令和3年(2022年)経済センサスより、函館市内の各産業の売上金額をみると、「卸売業、小売業」が7,083億円、「製造業」が1,972億円、「医療、福祉」が1,569億円となっています。観光消費総額は「製造業」「医療、福祉」の売上金額を上回っており、観光産業が函館市の経済を支える重要な産業であるといえます。

幅広い産業に広がる経済波及効果

令和3年(2021年)の「宿泊業、飲食サービス業」の売上金額は545億円です。観光消費総額と比較して見ると、観光客が宿泊・飲食以外の場面でも多くお金を消費していることがわかります。

観光客が市内で消費したお金は、企業間の取引を通じて幅広い産業に行き渡り、経済波及効果が広がります。観光産業の活性化は、関連する多くの産業にもメリットをもたらします。

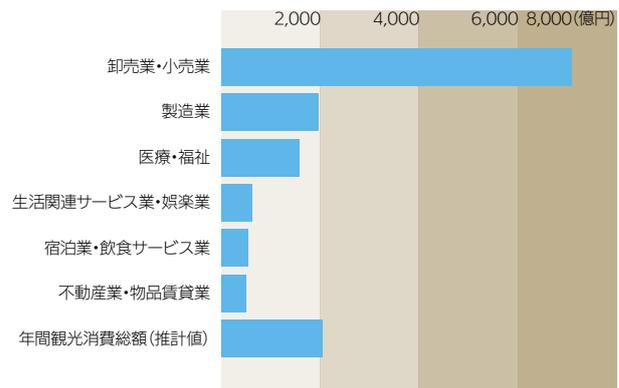
市民生活にも生まれる良い影響

観光産業からの経済波及の結果は、企業間取引を活発化させ、函館全体を潤し、幅広い産業や市民生活を豊かにするほか、観光産業などへの就職機会の提供など、市民生活にも良い影響を数多く生み出しています。

また、市内企業の売上増加による民間投資を後押しするほか、市税収入の増加をもたらす、道路などの社会インフラが整備されるなど、都市機能の充実による市民生活の利便性の向上にも繋がります。

函館市における経済規模の比較

(各産業の売上金額と観光消費総額の比較)



資料：各産業の売上金額(令和3年経済センサス)、観光消費総額(北海道観光入込客数調査報告書2017年～2019年平均値と函館市観光動向調査2019年から推計している)

観光業を活性化させる。その効果は他産業にも経済効果を及ぼすとともに、市民生活を豊かに。

観光産業の
活性化

01

① 観光事業者の売上増加

- ・観光入込客数の増加
- ・観光消費額の増加
- ・平均宿泊日数の増加

② 季節による繁閑差の是正

- ・1年を通した観光需要平準化
- ・観光事業者の経営安定化
- ・閑散期のコンテンツ造成

③ 観光業界での地元雇用の増加

- ・地元学生の観光業界への就職

他産業への
経済効果の波及

02

① 地域経済循環による効果

- ・域内事業者への発注増加
- ・市民による域内消費の割合向上

② 観光客への販売機会

- ・観光をハブとした販売機会増加

③ 観光産業を自分事として

- ・地域経済循環や観光客への販売機会の増加から、函館観光の重要性を認識

豊かな
市民生活

03

① 市民生活への良い影響

- ・観光産業への就職機会の増加
- ・観光消費による都市機能の充実

② 地域産業への理解促進

- ・市内の地域経済循環に関する理解促進
- ・観光産業の重要性の認識
- ・観光は函館に不可欠だという理解

③ 函館を誇りに思う

- ・観光地としての函館を誇りに思う「函館愛」の醸成

函館経済における観光の役割を考えると、「観光事業者の収入増加が、経済波及効果により幅広い産業と市民に広がり、結果として市民生活を豊かにする」、そんな姿が見えてきます。

函館観光のあるべき姿として、本計画では以下のような姿を目指します。

5年後の函館観光が 目指すあるべき姿

観光誘客による観光消費額の増加により、
観光業の売上を増加させ、**観光業を活性化**させる。

これにより、観光産業の振興が図られ、**関連のある事業者へも直接的な効果**があり、
また、観光消費による経済波及効果や地域経済循環により、
他産業にも売上の増加をもたらすほか、
市民生活にも経済的な効果が波及している。

観光基本計画のあるべき姿を実現するためには

- 観光業の活性化を目指す計画、**観光事業者と一緒にやってみよう**という計画でなくてはならない。
- 観光産業はすそ野が広く、**観光客の消費は直接、または経済波及効果により、多くの事業者に効果があることを丁寧に説明**することが必要である。
- 市民の皆様には、経済波及効果による収入の増加や、地域経済循環による都市機能の充実、観光産業への就職機会など様々な効果があることなどを説明し、**観光が函館の基幹産業であることへの理解を深め**、また、函館が素晴らしい観光地として評価されていることを知り、新しい視点から函館を見ることによる、**シビックプライド***用語解説Page.ivの高まりや、**函館愛の醸成が、将来的な函館観光の発展に繋がる**ことを示すことが必要である。

5年後の函館観光が目指すあるべき姿を端的に表現するため、
下記のフレーズを基本理念として掲げます。

観光の価値を高め、函館を照らす ～もう一回、もう一泊、もう〇〇～

基本理念に込められた意味

「観光の価値を高める」とは

来函観光客の満足度を向上させるため、提供するサービスやコンテンツの質を高めることを表現しています。

この質の向上により、観光客1人当たりの消費額や宿泊日数を増加させ、函館観光全体の消費額の向上を図ります。

「函館を照らす」とは

観光産業はすそ野の広い産業であることから、観光消費が直接、または経済波及効果により、多くの事業者にも効果があること、また、経済波及効果や地域経済循環による都市機能の充実、観光産業への就職機会など様々な効果により、市民生活を豊かにすることを表現しています。

「～もう一回、もう一泊、もう〇〇～」とは

「もう一回」は函館にもう一回来よう、「もう一泊」は函館にもう一泊したい、と観光客に思ってもらえるような観光地を目指そうという想いが込められています。

また、「もう〇〇」の部分については、観光事業者を始めとして、市内の事業者、市民の皆様にも、それぞれ自分ごととして、「もう一軒」や「もう一品」のように、「〇〇」の部分を考えていただき、観光客に食事や買い物、体験など様々なものを、函館でもっと楽しみたいと思っていただける観光地と一緒に目指していただきたいという想いで、このような表現としました。

観光産業からの他産業，市民への経済波及効果

函館市を訪れる観光客が増えて、観光事業者の売上が増加すると、経済波及効果により幅広い産業と市民に広がり、結果として市民生活が豊かになります。

